



20佐土第68号
平成20年10月20日

国土交通省 道路局長
金 井 道 夫 様

佐久市長 三 浦 大 助



今後の道路行政についての意見・提案について(提出)

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたことについて、別添のとおり意見や提案を提出しますので、よろしくお願いいたします。

長野県佐久市建設部土木課
担当:大森
TEL 0267-62-2111
(内線 342)
直通 0267-62-3298
FAX 0267-63-7750

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案

長野県 佐久市

まず、申し上げたいことは「道路に無駄な道路はない」ということであり、インフラ整備の源は「道」道路建設であります。道路が良くなれば、経済や観光の面でも地域は活性化されますし、救急救命をはじめ医療福祉面からも道路は生活に無くてはならないものになります。このことから、道路整備を進めるうえで一般財源化後も地方の道路整備財源の確保をお願いします。

また、地方の道路整備はまだまだ遅れており、特に地方の道路は国道から市道まで路線延長は長く、道路の新設改良や橋梁の架替え、踏切整備には多額の費用を要するとともに、その整備には長い年月を要するため、道路整備財源の安定的な確保をお願いします。安心安全な道路の整備を進めるためには、現行の道整備交付金事業や地方道路整備臨時交付金事業、まちづくり交付金事業など補助制度の充実をお願いします。

道路の整備が進んだところは、無医地区やへき地という言葉はなくなりました。

地方にとって道路は、病院間の廊下であり、動脈や毛細血管であり、生きていく上で最も重要なものであり、その整備は遅れている現状です。

次に、道路行政における選択と集中の基本的な考え方については、指標となる項目に対する配慮が必要であると考えます。日本が持続的に発展していくためには、全土に国民が暮らし、国土を保全し、均衡ある発展が必要です。

少子高齢化に伴いコンパクトにまとめる必要がある一方、それぞれの地区間、地域間、地方間を有機的に結び、それぞれの地域が同等に生活の利便性を受けられ、居住者の定着化を図る施策が必要です。そのため、インフラの基礎として道路整備が重要であります。

また、今後地方都市においては、定住人口確保のために都市再生は必要であり、既存の社会資本の活用と地域文化の継承を図っていく必要があります。そのため、都市基盤の一つである都市計画道路は、市街地の活性化、植栽や公共空間の創出による周辺環境の向上や防災機能の向上、歩道整備による高齢者や子供など歩行者の安全や踏切除却による交通の円滑化など多くの機能を持ち、早期の整備が求められております。

しかし、都市計画道路の多くは計画決定から40年以上経過しておりますが、いまだに約40%が未整備のままです。また、佐久市は、合併したことに伴い、中心市街地が旧市町村ごとに分散した形となっており、それぞれの中心市街地の整備や活性化が必要であると同時に、市街地と市街地、市街地と周辺部などの連携を取り、市の均衡ある発展を図っていく必要があります。このため、幹線道路・街路・生活道路などそれぞれの目的に沿った道路整備を進めることで、市内どこからも通勤通学、通院、買い物、駅やインターチェンジの利用などの利便性を向上させ、市の均衡ある発展を図ることができます。

現在、私たちがその恩恵を受けている道路は、過去において先人達の築き上げてきた結果であり、今後の道路整備は私達が未来に残さなければならぬ大切なものでありまして、その整備は皆が長年にわたり熱望してきているものであると思います。

なお、揮発油税(ガソリン税等)は、道路を走る自動車から生じる税金でありますので受益者負担の原則から道路整備に充てるのが原則と考えしております。

○現状

1. 高速交通ネットワークの形成

- * 上信越自動車道は、佐久インターチェンジが平成5年3月から供用が開始され、平成11年10月には全線が開通となり、佐久市から関東方面や日本海方面へのアクセスが大幅に向上しました。
- * 中部横断自動車道の整備計画沿いの長野県佐久地方から山梨県へと繋がる国道141号は、細い急カーブが続く山間部の道路改良が一部進んだものの、住宅が連担する地域は道路拡幅もできず依然としてそのままで、通行量だけが増え続けています。また、佐久地方は高冷地が多く、冬期間は路面凍結による事故等があり、特に、子どもやお年寄り、大型車が行きかう中をハラハラ冷や冷やしながらの生活を余儀なくされております。
- さらに、この国道141号の沿線には医療過疎と呼ばれる地域が多くあり、救急車を呼んでから病院に到着するまでに1時間を超えるところもあります。搬送途中の死亡率は全国平均の3倍にもなり、あと10分、15分早ければとの声も聞かれます。家族を失った人たちの無念さは計り知れないものがあります。
- * 中部横断自動車道は、上信越自動車道との接続により、太平洋と日本海を3時間40分で結ぶ新直轄方式の高速道路として、整備が進められており、北関東自動車道などとともに、東京から100～150km圏を連結する関東大環状連携軸を形成する重要な路線であり、地域産業の活性化、観光の振興、救命救急医療への貢献、また災害発生時の緊急輸送路としても早期完成が期待されています。

- * 佐久市を東西に走り、諏訪・松本方面を結ぶ国道142号、254号は、生活幹線道路でありますが交通量が増加し、特に佐久・松本間の国道254号は大型車の通過が多くなり、物流の大動脈となっています。また、朝夕は渋滞が激しく、地元の運転者は大型車の圧迫感などを感じながら通院や通学、通勤を余儀なくされています。

○課題

1. 高速交通ネットワークの形成

- * 上信越自動車道は、豊田飯山インターチェンジ以北の4車線化が進められておりますが、全線4車線化の早期完成が望まれます。
- * 国道141号沿いの生活者にとっても通行する者にとっても、生命の危険と隣り合わせであり、安全・安心の確保や救急救命の搬送時間の短縮を図るうえでも、中部横断自動車道の建設が必要不可欠です。また、日本海側や太平洋側で地震が頻繁に発生しており、災害時に被災地へ通じる輸送路の確保が必要であります。生命を守り助ける上でも佐久地方の道路整備はまだまだ不十分であり、その中でも、中部横断自動車道の一日も早い建設と全線の開通による高速交通網のネットワーク化が重要です。
- * 中部横断自動車道は、佐久南インターチェンジ(仮称)から八千穂インターチェンジ(仮称)までは、平成27年度の区間内完成を目指して工事が進められておりますが、高速道路はネットワーク化されることにより、その機能が最大限発揮されることから、道路整備財源が確保され着実な工事進捗が必要です。
- また、整備計画区間への格上げがされていない八千穂インターチェンジ(仮称)から長坂ジャンクション(仮称)間が整備計画区間に格上げされ、早期事業着手されることが重要です。
- * 松本空港とのアクセス性を高めることや、多軸型国土の形成を促進するため、計画されている中部縦貫自動車道と連携を図るためや渋滞を解消するうえでも、松本・佐久間の交流促進型広域道路(地域高規格道路)の建設が必要になっていきます。

○現状

2. 地域交通ネットワークの形成

① 幹線道路網の整備

* 佐久市の交通網は南北交通を基軸としています。特に国道141号は、南佐久地域から佐久平駅、佐久インターチェンジ及び国道18号へとアクセスする主要幹線道路であり、拡大する地域経済活動や日常生活圏に対応しています。現在、交通量の増加に伴う交通渋滞などの問題が生じていることから、4車線化工事が進められています。浅茅大橋はまだ2車線です。

また、中部横断自動車道はインターチェンジの整備により、国道141号と相互補完する道路としても期待されています。

さらに、平成17年の合併後は、南北23.1kmに対し東西32.1kmと東西に広くなり、東西交通を重視することが大切となりました。

* 市内の主要地方道や県道には、道路の両側に住宅が密集していたり、住宅と河川に挟まれた道路があり、道路幅が困難な隘路で迂回路のない一本道、築造から76年が経つ佐久橋などの橋梁のほか、小中学校付近で歩道のない箇所が多く、区長総会や市政懇談会、さらには地元区長やPTAなどで組織された地域の道路整備期成同盟会から、バス化や道路拡幅、歩道整備などの要望が多くあります。大型車のすれ違いが困難な主要地方道がまだまだ多くある状況です。

② 生活道路の整備

* 佐久市の市道延長は1,867kmですが、改良率は44.95%で、幅員の狭い隘路や路肩の弱い区間や排水路のない箇所、急勾配箇所や急カーブのある道路、経年劣化と寒冷地で亀甲状にひび割れた舗装箇所が多くあります。また、中心市街地から遠く離れた地域においては、中心市街地までの所要時間が長く、通勤通学はもとより、生活の向上と地域の均衡ある発展に繋がるため道路の新設改良が合併時の新市建設計画へ要望されています。

* 佐久市内には、239の行政区があり毎年、各区長から歩道設置、舗装・補修、側溝整備などの要望が数多くあります。また、PTA連合会や保育園保護者会からも歩道や信号整備の要望が毎年出されています。

* 佐久市は標高が高く、降雪後は雪が溶けにくいというえ、道路は圧雪された状態になり凍結します。

○課題

2. 地域交通ネットワークの形成

① 幹線道路網の整備

* 国道141号で4車線化計画区間の早期完成を促進するとともに、国道142号・国道254号は、関東地方と関西地方を結ぶ高速道路の補助幹線的な役割も担っている道路であり、国道141号を始めとする縦軸と交差しながら、中部横断自動車道佐久南インターチェンジ(仮称)のアクセス機能とその周辺土地利用に重要な役割を果たすこととなります。

また、東西交通を円滑にするため、国道141号と岩村田市街地とを結び、さらに、土地利用の向上を図る都市計画道路原東1号線とその先線(北幹線)や、佐久地区と望月地区を結ぶ東西幹線などの整備を進め、市内の各地域を幹線道路網で結び、本市の一体性を高めることが最重要課題です。

* 主要地方道や県道の整備は、生活幹線道路として安心安全な交通の確保に向け、拡幅改良やバイパス建設、橋梁の架替えを含む長寿命化や交通安全施設の整備を促進する必要がありますが、県道であり県における事業化と財源確保などが必要です。

② 生活道路の整備

* 市民に身近な生活道路として、行政区の要望に応え緊急性や必要性を考慮し、拡幅など規格改良や交通安全の確保を図る必要があります。また、過疎地域や辺境地域においては、道路の新設や改良により、市民生活の利便性向上に寄与しなければなりません。膨大な費用を要するため国の補助制度を活用し計画的に進める必要があります。

さらに、小中学校への通学など、歩行者の安全確保のため、ハラハラ解消の危険防止として、歩道や信号など交通安全施設の整備が必要で

す。

* 降雪時やその後も安心して通行ができる道路として整備したり、凍結防止などの管理が必要です。

○現状

* 橋梁は、永久橋が757か所、非永久橋(木橋)が15か所で、築造から50年を経過した永久橋が14橋、非永久橋が2橋あり、全体的に老朽化が進んでいます。また、市内をJR小海線が縦断しており、通勤・通学時の交通手段として地域交通を担っていますが、鉄道を横断する市道の踏切も多くあり、幅員が狭く車両の大型化などには対応していない状況です。

③ 都市計画道路の整備

* 都市計画道路は、都市の主要な骨格となるため、地域幹線道路ネットワークの形成に重要な位置付けとなりますが、街路の多くは計画決定されてから40年以上経過する中で整備率はいまだに60%程度であり、岩村田市街地を横断する相生大手線のように、住宅や店舗等が連担しているうえ踏切があり、未だに事業化ができない路線など、未整備路線が多く残っている状況です。

* 市街地においては、道路と周辺地域を含めた区画整理事業を取り入れた事業も進めております。新幹線佐久平駅周辺では、約60haを区画整理事業で整備いたしました。現在ではほぼ100%近く土地利用が進み、市街化が周辺地区へ広がっております。無秩序な土地利用が懸念されることから、周辺住民の安全と良好な生活環境を確保し、健全な市街地形成を図るため、都市計画道路近津砂田線を沿道土地区画整理事業で整備を進めています。しかし、早期にさらなる隣接地区の整備も必要となっております。

○課題

* 橋梁の長寿命化に向けては、調査を実施し架替えや補修の計画化が急務ですが、架替えには多額の費用がかかることから国の補助制度の充実が必要です。また、JR小海線と市道が交差する踏切についても市道改良と併せ、安全な道路として逐次改良を図る必要がありますが財源の確保が大きな課題です。

③ 都市計画道路の整備

* 計画決定から長い年月がたつて社会情勢や、路線の位置づけ、道路機能・役割などが変化してきていることから、平成17年度に県より示された計画見直し指針により佐久市都市計画道路整備プログラムを策定し、計画的に街路整備を進めるとともに、土地区画整理事業などとも連動させながら、市街地相互の連結や高速交通網へのアクセス機能を考慮した整備が必要です。計画的な整備を進めるに当たっては、市街地における改良や踏切の改良などには多大な経費がかかり、財源の確保が大きな課題です。

* 通常の区画整理事業は、事業費の確保や保留地の処分が困難なため、沿道土地区画整理型街路事業や沿道整備街路事業による事業区域を必要最小限とした事業推進を図っておりますが、より整備効果の高い市街地との一体的整備が課題となります。

佐久市は、平成17年4月1日に旧佐久市、旧田町、浅科村、望月町が合併した人口10万人の高原都市です。

(東西32.1km、南北23.1km、総面積423.99km²、標高692m:市役所)

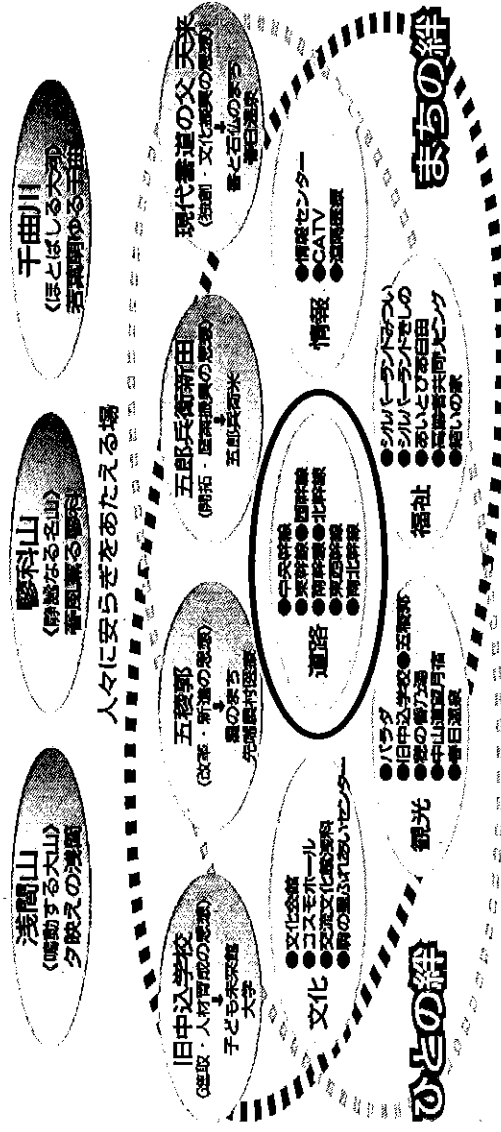
本市では、これらの個性を尊重しながら共生・融合を図り、市民の一体感を醸成します。そして、安心して豊かに暮らせる新たなふるさと創造を進めるため、美しい自然環境に配慮した幹線道路・交通機関・情報のネットワークを構築します。さらに、この地域間ネットワークを佐久都市圏はもとより全国や世界ネットワークへと繋げることにより、たくましさで優しさを併せ持つ「多機能都市」として、真の地方の時代に立ち向かう魅力ある力強いまちづくりへと歩み始めます。

本市は、「ひとの絆・まちの絆」を基本として、21世紀を担う人材育成や100万経済圏づくり、1,000万交流圏づくりを行い、人や物流、さらに情報の要衝となるべき「21世紀の新たな文化発祥の大地」を目指します。

佐久の地に悠久の歴史を共有してきた私たちは、先人の培ってきた叡智とほとばしる情熱を受け継ぎながら、激変期の社会に凜として臨むことが大切です。

本市は、この大きなうねりを乗り越え、真の地方の時代に立ち向かうたくましさで優しさを併せ持つために、様々な人々や地域、産業を通じた夢と希望に満ちた新時代を切り拓くまちづくりを目指します。

このため、本市の将来都市像は「叡智と情熱が結ぶ、21世紀の新たな文化発祥都市」です。



今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

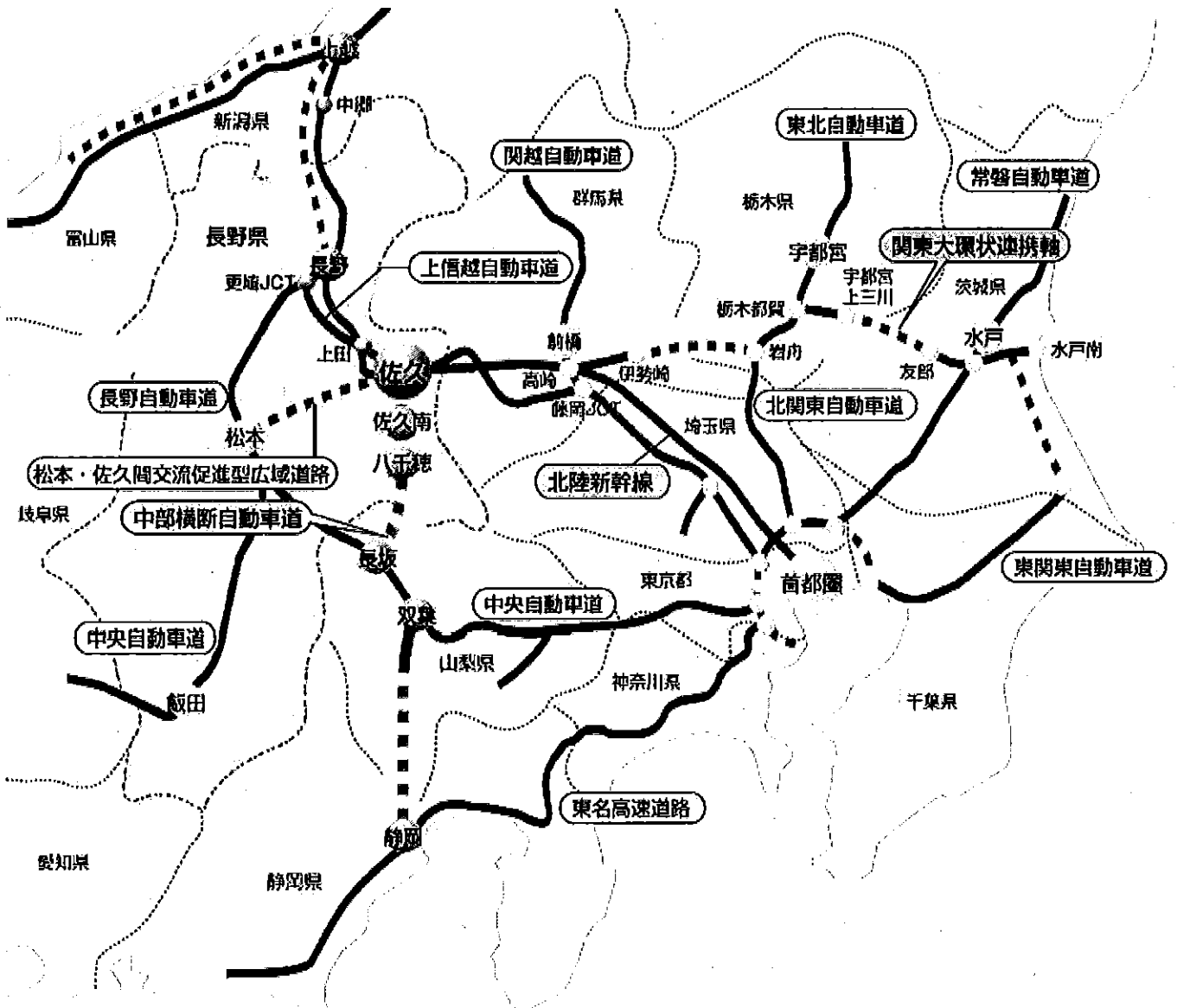
長野県 佐久市

○重点事項	○代表事例	○期待できる効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・国際競争力の強化のための交通サービスの向上	・中部横断自動車道の早期建設 佐久ジャンクション(仮称)から佐久南インターチェンジ(仮称)までは平成22年度、佐久南から八千穂インターチェンジ(仮称)間は平成27年度の完成を目指して工事を進めていただいています。また、長土呂・中佐都・切原の3地区にインターチェンジの整備も進めていただいています。 ・八千穂インターチェンジ(仮称)から長坂ジャンクション(仮称)間が、整備計画区間に格上げを要望しています。	○期待できる効果や評価等 ・救命救急医療への貢献 救急患者の輸送時間短縮により救命率の飛躍的向上が期待されます。また、高速バス運行等により生活交流圏の拡大が期待されます。 ・インターチェンジ周辺道路の整備が進みます。 ・地域産業の活性化や観光の振興 県外や外国からの企業誘致が促進されます。 ・太平洋と日本海へのアクセスが容易になり、物流など経済圏拡大と外国人観光客を含めた観光振興など交流圏の拡大が期待されます。 ・中部横断自動車道が全線完成し開通しますと、関東大環状連携軸が形成され、関東・甲信越・中部の経済圏や交流圏が拡大し、計り知れない効果が期待されます。 ・災害発生時には緊急輸送路として活用ができます。(陸上輸送)	○その他 高速道の相乗効果
・大規模な地震、火災に強い国土づくり等 ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 ・地域活力の向上 ・地球温暖化の防止 ・良好な生活空間・自然環境の形成	幹線道路網の整備 ・東西幹線の整備 市の東西南北のほぼ中央部を東西に結び、中部横断自動車道佐久南インターチェンジへ通じる国道142号・254号に連絡する市の主要幹線道路の最重要路線です。現在、市中央部の佐久地区と望月地区との接続を望月地区側から進めています。	〃 ・地域間の時間的距離が短縮され、燃料消費量が減少し温暖化防止の一助となります。また、合併後の地域の一体的な発展が期待されます。 ・市の中心市街地や中部横断自動車へのアクセス及び医療施設などへの時間短縮が期待される。また、事故や災害時なども他路線の補完が図れます。	国道141号と相互補完 (注) 佐久市の地域幹線道路として市内の国道や県道、市道を縦横に結び、縦軸には中央幹線、東幹線、南北幹線、西幹線、横軸に北幹線、東西幹線、南幹線の7幹線を位置付け、ネットワーク化を目指しています。

○重点事項	○代表事例	○期待できる効果や評価等	○その他
・良好な景観の形成 ・大規模な地震、火災に強い国土づくり等 ・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・東幹線整備 市東部の佐久地区から臼田地区を縦断する県道や市道により主要交通施設を繋ぎ、南北交通の一翼を担う重要路線です。現在、市中央東部で拡幅改良と接続を進めています。 ・都市計画道路の整備 都市計画道路 原東1号線は、中部横断自動車道の中佐都インターチェンジ(仮称)へのアクセス道路であり、「北幹線」の一部となっております。現在整備中の国道141号から岩村田市街地の間は、多くの住宅と各種学校施設が近在する環境であるため、周辺土地利用に配慮した、広幅員の歩道に植樹を多くし歩行者や住民に優しい道路の整備を進めています。	○期待できる効果や評価等 隣接の佐久穂町から御代田町を連絡する幹線道路網の中で、交通渋滞が著しい中央幹線(国道141号)の交通量を分散し、渋滞解消と災害時の相互補完が期待されます。 環境にあった良好な土地利用が進むとともに、街路が整備され、良好な住環境と火災などの災害に強い市街地の形成が図れます。 また、保育園から大学校までが近在する地区です。子育て環境の形成に期待がされます。 さらに、接続道路の整備により、中部横断自動車道の中佐都インターチェンジ(仮称)へのアクセスのほか、東西交通の円滑化が図れます。	

高速交通ネットワーク図(計画・予定等含む)

長野県 佐久市



長野県佐久市

